



お花見喫茶店～3月24日

今年は桜の開花がとてもゆっくりだったので、お花見喫茶店を開店した3月24日には、やっと数輪が開花したばかりでした。

早々に花よりだんご🍡ならぬ「花よりケーキ」に切り替え、この日はお花見にちなんだ話題とおやつを楽しむことにいたしました。

各地の有名な桜の話題ではプリントで福島の「三春滝桜」等が紹介されていました。

皆さん、スタッフが紹介する桜やお花見の話題を聞きながら聞いてくださっていました。

中庭の桜でのお花見には早かったため、テーブルには一枝の造花が飾られていましたが、「充分お花見が出来るわよ」「これから咲くのを楽しみにできるのも良いものよ」と言ってくれる優しいご入居者様方です。

いちごのモンブランも春らしい色合いでしたが、お花見だんごと同じグリーンとピンク色のムースもとても可愛らしくて美味しそうでした。

添えられたドリンクのカップにも桜の模様入りです。

後日、中庭に出て日向ぼっこしながら改めてお花見をして記念撮影もいたしました。

右下の2枚の写真は後日満開を迎えて撮影いたしました。

うすピンク色の花が、枝の先に手鞠のようにモコモコとまとまって咲いている様子を撮ってみました。



福島の三春滝桜

「三春滝桜（みはるたきざくら）」は、花定樹齢が100年以上といわれる桜の木、樹高が約11m、高さ約10mと巨樹的な大きさでインパクトがあるのが特徴です。





着任のご挨拶



皆様初めまして。4月1日、ゆうらいふ世田谷に支配人として着任いたしました八田悠介（はったゆうすけ）と申します。私自身はゆうらいふ世田谷がオープンした2006年から勤務いたしております。新規施設オープンという事もあり、横浜・世田谷両施設のケアスタッフが採用され、多くの同期と共に入社いたしました。

ゆうらいふ横浜でケアスタッフとして長年務めた後、ゆうらいふというブランドの持つ「あなたらしくを、いつまでも」をコンセプトにしたケアの魅力を伝える仕事として新たに営業兼生活相談員の業務に異動し経験を積んでまいりました。入居を考えているお客様やそのご家族とより多く触れ合うようになり、最初に見学される方の考えていることや、ケアという言葉への理解の浸透度など本当に様々な方がいらっしゃると知り、勉強をさせて頂きました。どんなに良い施設であっても、ほとんどのお客様の考えとして、最初は施設に入るという事にマイナスのイメージをお持ちです。それは正直当たり前の事で、やはり「自宅を離れる寂しさ」や、「本当はまだ自宅で頑張れるのではないか？」そういった思いが残るのが普通だからです。こうした、ご入居前からのお客様との触れ合いでうれしく思うのが、最初は気持ちが後ろ向きだったお客様がだんだんとゆうらいふのサービスを通して「ここに来て良かった」に変わっていくのを見る時でございます。上記の事を踏まえて私の所信表明と致しまして、ゆうらいふとしてのケアの力＝介護・食事・看護・リハビリなども含めた総合力を高め、皆様により深く提供できるよう頑張りたいと考えております。

至らない点もあると思いますが、いつでもお声掛けください。

皆様の気持ちに寄り添った支配人を目指してまいります。



4月から橋本に代わり介護長になりました塩原直子（しおはらなおこ）です。これまではケアマネジャーでしたが、これからは介護長とケアマネジャーを兼任しながら皆様に関わらせていただきます。昨年親会社の変更で大きな節目を迎えたゆうらいふですが、より明るく風通しの良いゆうらいふを目指して邁進して参ります。フロントやフロア、また担当者会議などでもお目にかかる機会が多いと思いますので、何かございましたらお気軽にお声掛けください。



昨年11月より株式会社ソラストケア代表取締役社長を務めております神元誠司（かみもとせいじ）でございます。昭和37年、京都生まれ。新卒で日本マクドナルドに入社。20年近く勤務した後、ラウンドワン・ロッテリア・ゴンチャ等で執行役員等を務め、長く企業経営に携わってまいりました。これまでの経験を活かしソラストケアの経営理念の元、経営改革を促進して参ります。

○高品質のサービスを提供し、お客様満足を実現します。

○経験と実績を積み重ね、豊かな高齢社会づくりに貢献します。

○持続的な業績向上を目指しお客様や株主の信頼と期待に応えます。



お正月



今年も恒例の「ゆうらいふ神社」への初詣や書初め、双六に、はねつき等お正月らしいレクリエーションを楽しみました。ゆうらいふ神社には、スタッフ手作りの可愛い破魔矢や小さなお守りがあって、お詣りの後に皆さんお部屋にお持ち帰りになりました。双六では、順番に大きなサイコロを振って出た目の分進んだマスに書かれたお題に沿って、皆さんとお話をしました。

「旅行してみたい場所」の話題で様々な国の名前が出ると、その国へ行ったことのある方が観光地や食べ物について紹介してくださる場面もみられました。



豆まき~2月4日



節分の豆まきをしました。

赤鬼と青鬼に豆をぶつけて退治しようとしたのですが、今年の鬼はしぶとく居座ります。ご入居者様も「今年の鬼はなかなか倒れないね」と。大きな声で「鬼は〜外」と繰り返し豆をぶつけてやっと観念したようです。

今年も、ちゃんと厄払いができて、一年元気で過ごしていただけそうで、良かったです。

その後の鬼たちとの記念撮影では、鬼のフワフワの髪を被って写真を撮った方もいらして、とても楽しそうでした。



ひなまつり~3月3日

今年も各階にひな人形をご入居者の皆様と飾りました。

お道具を飾るたびに感嘆の声があがり、「可愛いですね」

「素敵ね」等と仰っていました。

スタッフが小さな飾りをつけるのに苦戦しているのも、ほほえましく見守ってくださっていたそうです。

当日は、ひなまつりの由来や各地のひなまつりなどをご紹介したり、ひなまつりの思い出のお話を伺ったりしました。

一緒にひなまつりの歌も歌いました。

おやつは、可愛いお雛様の和菓子と桃の風味のカルピスなどを召し上がっていただきました。



メイクボランティア～1月28日

介護美容を学ぶ学生さん方が来館されて、ご入居者様に素敵なメイクをしてくださいました。

「アイシャドウはどの色にしましょうか？」とカラフルなパレットを見ながら一緒に色を選んだり、フェイシャルマッサージを受けて気持ち良さそうにされたりしていました。

職員が向けるカメラにはちょっぴり照れたようなご様子。メイクをしてもらったご入居者同士「とっても綺麗よ」「あなたもすごく素敵」と褒めあっているお姿が印象的でした。

ご入居者様のキラキラの笑顔が見られて職員もにっこり!



防災訓練～3月28日

今回の防災訓練は、いつもの避難訓練に加え、消防署の方のご指導で消火器の使用訓練とAEDの使用訓練も行いました。AEDの訓練は2階のご入居者様も見学されましたが、呼吸の確認方法を質問されるなど興味深そうでした。



居酒屋～3月22日



今回の居酒屋のメインのお料理は海鮮バラちらしです。

大きな鉢に盛られているバラちらしのお寿司はなかなかの迫力で、色とりどりの具材をのせたお寿司を皆さん「綺麗だわ～」と喜んでいらっしゃいました。ビールを飲みながら職員とおしゃべりしている写真と、日頃は厨房の中にいる事の多いフードサービスの職員がデザートをお届けしながら、ご入居者さんに感想等を伺っている写真です。



《編集後記》

ゆうらいふの中庭では、トキワマンサクの木も花が満開です。外気浴に良い季節となりました。コロナで中止していた1階のカフェコーナーも再開いたしましたので、中庭散策のお供にぜひご利用ください。

編集委員 神谷和美

次回掲載予定記事

端午の節句
お散歩会
コンサート

など

